

2025/11/14 Oshukan Global Times No. 40



「EU があなたの学校にやってくる」

11月14日の5・6限目にマルタ共和国特命全権大使のスピテリ大使閣下にお越しいただき、多目的室で4年生の生徒と交流しました。最初に、スピテリ大使閣下から40分ほどEUについての講演をしていただきました。ジョークやクイズを交えたわかりやすいプレゼンテーションで、最初は緊張していた生徒もだんだんと表情が明るくなり、最後には笑顔で楽しみながら参加していました。その後、代表生徒8名による質疑応答形式のパネルディスカッションを行いました。代表生徒は事前に用意してきた質問を大使にお聞きし、大使はそれぞれの質問に、できるだけ簡単な英語で丁寧に回答してくださいました。EUやマルタのことだけでなく、これから国際社会を生きていくうえで大切なことなども大使自身の経験から語ってくださいり、とても学びの多い時間になりました。パネルディスカッションの後には、代表生徒が学校の中を案内し、部活動の見学にも同行しました。大使や通訳の方と話をしながら、和やかな雰囲気で交流することができ、充実したひとときとなりました。

感想

- 大使との会話やパネルディスカッションを通して、ただ英語を学ぶだけでは深められない、国際交流の奥深さを実感できた。これからもこのような機会を大切にしていきたい。
- 大使という普段ならば絶対にお会いすることの叶わない方と話すことが出来たのは大変光栄だった。今回英語で会話できたことで、英語を学ぶ意義を肌で感じることができた。
- 担当の生徒全員で何度も調整をして、当日を迎え、終えられて良かった。英語に囲まれる場は少ないため、積極的に取り組み、大使や周りの生徒から学べて良かった。
- 大使とディスカッションすることで多角的に世界や日本を捉えることができた。また、普段習っている英語を、失礼のない表現を工夫しながら話すことで、実際に使える英語が身についた。
- 大使の方と直接交流するというのは滅多にない光栄なことだった。準備から当日まで、座学ではない生きた英語というのを感じることができた。
- EUの価値観やマルタの特徴、外交官というお仕事について、講義とディスカッションを通して新たに知ることがたくさんあった。事前準備や司会進行も含めて貴重な経験となった。
- 日常生活では英語で即興で考えて相手に伝えるということをなかなかできないが、マルタ大使を相手にそれをすることができて、忘れられない貴重な体験となった。
- 事前準備は大変なことが多かったが、それでも頑張って準備してよかったと心から思えるほど沢山のことを吸収することができた。17期生全員にとっても、世界とのつながりを感じられるとても貴重な機会になったと思う。